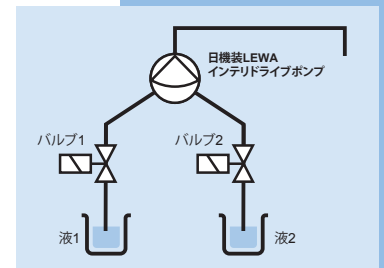


日機装LEWAインテリドライブポンプ



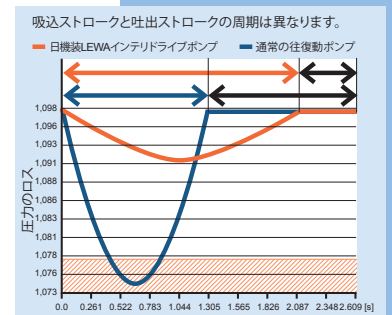
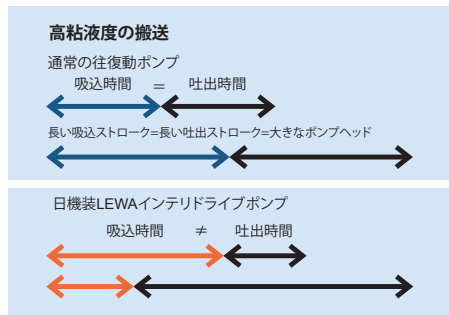
ミキシング: ストロークの部分使用

例えば、バルブと連動させてストロークを自在に制御し、2つの液体の体積比に応じて、吸込時にストロークを配分して吸引することができます。バルブ1が開いてポンプが動き、計算された容積に達するとポンプが止まり、次にバルブが切り替わってポンプが動きだし、液2を吸込みます。液2が計算された体積に達するとポンプが止まり、バルブ2が開きます。その後、ポンプが動き、混合液を吐出します。液の混合比率はコントローラで調整できます。また、混合液の吐出量は、ポンプの回転数で調整できます。



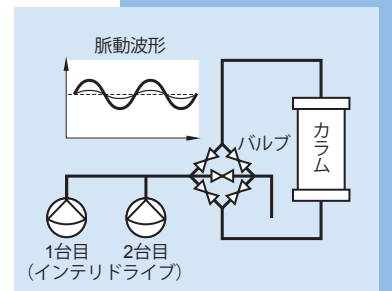
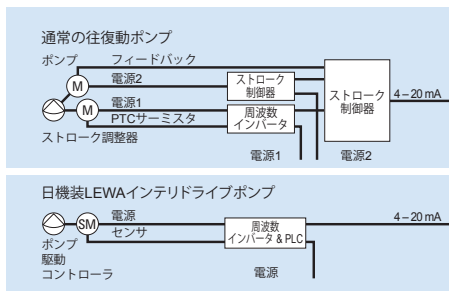
高粘度液の搬送: 吸込・吐出の可変ストロークスピード

吸込および吐出でストロークスピードを変えることができます。高粘度の液体を、ゆっくりと圧力損失の少ない形で吸込み、次に素早く吐出できます。これにより、高粘度液用として、低速で吸引するために大きすぎるポンプヘッドを選定する必要がなくなりました。遅い吸込ストロークと速い吐出ストロークを組み合わせることで1サイクルの時間配分が調整できます。これにより、小さなポンプヘッドでの対応が可能になります。



クロマトグラフィー: 低圧および高圧分離における精密さ

クロマトグラフィーの分野では、そのすべての長所を同時に発揮することができます。例えば、「吸込・吐出の可変ストロークスピード」と「ストロークの部分使用」の組み合わせは、1:150以上の最大調整レンジをもたらします。従来の技術の場合、回転数制御とストローク制御のために2つの制御機器との接続が必要でしたが、日機装LEWAインテリドライブポンプでは1つのユニットにまとまりました。これにより、溶出剤の移送における幅広い調整レンジと高い精度を得ることが可能となります。また、2台のポンプのインテリジェントコントロールが実行されると、ほぼ脈動のない運転が可能です。



お問い合わせ先: 日機装株式会社 インダストリアル事業本部 営業推進部 TEL (03) 3443-3728